

領 収 書

平成28年8月4日

高橋 功 議員

金額
(消費税込)

910円

第1回佐野市議会議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(平成28年5月15日報告会開催)

佐野市議会報告会運営委員長 飯田 昌弘



領 収 証 兼 明 細 書

〒327-0514

佐野市仙波町2845

54,000円
以上
収入印紙

高 橋 功 様

¥13,000-

平成29年 3月21日 上記正に領収いたしました

電話 85-3054

得意先No 2811

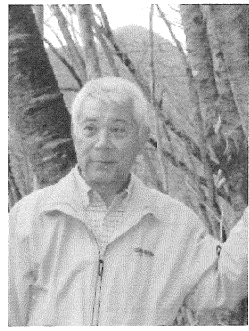


有限会社 サムディー <http://www.samdy.jp>
〒327-0315 栃木県佐野市吉水駅前2-6-18
TEL 0283-61-0075 FAX 0283-62-3955

日付	伝票No	品名	数量	単位	単価	金額
2017. 3. 21	78175	市議会報告書作成及びコピー代	1	セット	13,000	13,000

合計 ¥13,000 内消費税963

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。



佐野市議会議員

いさお

たかはし 功

市政&議会
レポート

発行 平成 29 年 3 月

〒327-0514

佐野市仙波町 2845

TEL 85-3054

FAX 85-2012

平成 29 年度第 1 回佐野市議会定例会は 2 月 17 日に開会され、全議案が原案どおり可決成立し、3 月 10 日に閉会しました。

平成 29 年度一般会計予算は、465 億 9 千万円（前年比 0.1%増）市税が増収 175 億 8,746 万円（前年比 2.6%の増）市債 34 億 1,400 万円（前年比 15.5%増）です。

今議会でも、予算審査特別委員会が設置され予算の審査を行いました。私も委員として、10 項目の質疑を行い確実な予算執行と、効率的な市政経営を行うよう求めました。

■平成 29 年度の主な事業を報告します。

事業名	予算額	事業概要
佐野パパプロジェクト推進事業費	2,160 万円	行政だけでは気づかない地域の芽を、地元を愛するパパの目により発掘し、民間主体により育成することで、これまでとは違った佐野市の魅力を発信する。
安心生活支援事業費	975 万円	障がい者が地域で安心して暮らしていけるよう、地域生活を支援するための総合調整を図る。
葛生あくと福祉センター等浴室・給湯設備改修事業費	6,069 万円	老朽化に伴う浴室・給湯設備の改修工事
佐野市そばまつり開催支援事業費	180 万円	市内の農村レストラン、農産直売所等が、そばや農産物等の直売を通じ、地域農業の振興を図る。
有害鳥獣捕獲事業費	800 万円	野生鳥獣による農林水産物等の被害対策として、有害鳥獣の捕獲を実施する。
全国山城サミット佐野大会開催事業費	700 万円	唐沢山城跡の国指定史跡化を機に、広く佐野市を PR し、更なる観光誘客を図るため全国山城サミット佐野大会を開催する。
市道維持整備補修事業費	4 億 7,191 万円	市道認定している道路の維持補修費
喜多山公園法面保護対策事業費	6,197 万円	喜多山公園野外ステージ背面にある法面の保護対策工事
若者移住・定住促進事業費	570 万円	市内への転入者増加対策として、市内に定住を図るため住宅を習得した若者夫婦又は若者夫婦世帯に対し、各種補助金を交付する。
空き家活用推進事業費	1,016 万円	空き家の利活用を促進するため、空き家バンクを運営し、田舎暮らしを希望する人に対し、効果的に情報を発信する。また、空き家バンク制度を利用し、購入した空き家を改修する場合に、補充金を交付する。
田沼西地区小中一貫校整備事業費	13 億 8,292 万円	田沼西地区小中一貫校整備 校舎等建設工事、仮設校舎借上、監理委託等

ここが聞きたい

たかはし功が一般質問で市の考え方を問う 平成29年2月22日一般質問

問 市民病院の民間譲渡と佐野市の医療構想について

問 市民病院の民設民営化について、説明会開催での市民の反応について伺います。

健康医療部長 市民病院を民設民営に移行するとした方針を決定した経緯と、市民病院は、今後とも市民の健康と生命を守るため存続することを市民の皆さんや病院職員の皆さんに説明し、ご安心いただくことを目的とさせていただきます。

問 協定の締結が延期することもあり得るのか伺います。

健康医療部長 全てが順調に進捗するものと想定した場合、指定管理期間が平成30年3月31日までとなっておりますので、期限までに譲渡できるような努めてまいりたいと考えております。しかし、合意形成がなされなかった場合には、指定管理期間を限定的に延長するなど、市民にご不便をおかけしないよう、今後の対応を検討することになるものと考えます。

問 へき地医療拠点病院としての指定と、へき地診療所4カ所との今後の連携継続について伺います。

健康医療部長 へき地医療拠点病院としての役割は、市民病院の重要な機能の一つであると考えております。そのため、民間譲渡後もへき地医療拠点病院の指定が受けられるような体勢づくりを、譲渡条件の一つに加える考えでおります。また、同様にへき地診療所4施設との連携につきましても、今後も継続するよう譲渡条件に加える考えでおります。

問 両毛地域医療構想と市内病院と市民病院の目指すべき方向性について伺います。

健康医療部長 両毛地域医療構想は、目指すべき医療提供体制の構築に向けて医療重要と必要病床数を予測して計画されたものです。この中で足利赤十字病院、佐野厚生総合病院が地域の中核病院として、高度急性期及び急性期を中心に、一部回復期、慢性期までをカバーするような形になり、佐野市民病院を含むその外の病院は、回復期・慢性期を中心に機能分担を図っていくことが想定されております。医療構想では、全体の病床数には限りがありますので、住宅医療の基盤整備が非常に重要です。

問 唐沢山城跡保存整備事業の確実な進捗と山城サミットについて

問 今年度における整備基本計画の策定状況について伺います。

教育総務部長 本計画策定に向け、これまでに全国的な有識者が集う専門の委員会等を開催して指導をいただきました。また、庁内関係部署や関係する県の機関にも出席いただく連絡会議や、地元町会や所有者等への説明会等を開催してきました。「史跡唐沢山城跡整備基本計画」は今後の史跡整備を進めるうえで、重要な計画策定になりますので、慎重に準備を進め今年度中の策定に向け鋭意努力しております。

問 全国山城サミットの2日間のプログラムと再度訪れたい気持ちにさせる仕掛けについて伺います。

教育総務部長 2日間のプログラムにつきましては、1日目の11月25日（土）は、佐野文化会館において、「全国山城サミット連絡協議会の総会」、「大会行事」、「山城をテーマにしたシンポジウム」などを予定しております。そして、2日目は、会場を唐沢山城跡の山頂周辺を中心に、現地見学会や専門家による対談会などを中心に予定しております。

仕掛けについては、大型モニターやスマートフォン、タブレットなどの端末機器を利用した史跡や名所の解説などについても準備を進めているところ です。

問 多く皆さまに唐沢山城跡を楽しんでいただくためには、山頂部の駐車場まで大型バスの乗り入れが有効であると考えます。道路（狭隘なカーブ等）の拡幅が必要と思いますが、具体的な対応について伺います。

教育総務部長 議員ご指摘のとおり、山城サミット開催に伴い、サミット当日を含めた前後期間にも、多くのバスの往来が想定されます。当面の対応としまして、今年1月に、県土木事務所よって、第2カーブ内側の高低差が多いため、カーブの外側を通る車線へと引き直しが行われました。また、唐沢山神社、県および市の協力により、道路に張り出した木の枝を伐採し、バス車体への干渉を防ぐための対策を講じております。尚、サミット当日の来場者にはシャトルバスの利用を検討しております。